

令和3年12月24日

尾道市長 平谷祐宏 様

尾道市総合戦略評価委員会
会 長 藤 澤 毅

地方創生推進交付金事業の評価について

【評価結果】

尾道市が地方創生推進交付金を活用し、令和2年度に実施した4事業は、地方創生に対して有効であったと評価する。

・しまなみDMO形成推進事業

(評価理由)

新型コロナウイルス感染症の影響により、すべてのKPIについて前年度実績を下回り、目標達成には至らなかったものの、令和元年度までは概ね順調に目標値達成に向けて増加しており、また、アフターコロナを見据えた取組や、情報発信を継続していることを評価する。

(指摘事項)

交付金事業としては終了するが、本交付金事業で実施したプロモーションやレンタサイクル事業等の効果を分析し、事業者と連携した事業の継続に期待する。

・SAVOR JAPAN（農泊食文化海外発信地域）活動推進支援事業

(評価理由)

新型コロナウイルスの影響により、KPIの「外国人観光客数」及び「宿泊客数」については前年度実績を下回ったが、「認定農業者数」については目標値を上回っている。また、地域食材を活用した商品開発研究事業は着実な成果を上げており、アフターコロナを見据え、効果的に情

報発信を実施していることを評価する。

(指摘事項)

アフターコロナを見据え、本交付金事業の実施による効果を分析するとともに、開発商品が地元飲食店にも展開されることを期待する。

・瀬戸田未来創造支援事業

(評価理由)

K P I の「瀬戸田地域の 1 人当たりの観光消費額」が増加したことは、G o T o トラベル等の実施の影響を受けているが、一定の成果を上げていると考えられるため、評価する。また、民間事業者を呼び込み、地元商店街も巻き込みながら、地域が一体となってまちづくりを推進していることを高く評価する。

(指摘事項)

K P I の「瀬戸田地域の 1 人当たりの観光消費額」が増加したことについて、他地域との比較や要因分析を行うとともに、その分析を踏まえ、今後打つべき施策を検討することを期待する。

・尾道市シティープロモーション推進事業（移住定住の促進・関係人口の拡大）

(評価理由)

K P I の「移住相談者の U I J ターン数」及び「移住相談窓口の利用者数」が既に事業最終年度の目標値を上回っていること、また、移住者のうち、20・30・40 歳代が多くを占めていることを評価する。

(指摘事項)

尾道への移住に繋がらなかったケースを含め、移住動機を分析し、今後のブランドサイト整備に反映させる仕組みを構築するとともに、まちの魅力の情報や支援施策の情報を継続的に発信していくことに期待する。